

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓 太	電話番号	0852-22-6776
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	島根県民会館整備事業		
目的	(1) 対象	県民及び文化団体など	
	(2) 意図	安全で快適に施設を利用することができる。	
事業概要	島根県民会館を良好な状態で維持管理するため、これらの施設を整備する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	修繕計画の進捗度	目標値	100.00				%
			取組目標値					
	式・定義	計画における工事の執行項目数/H28年度までの計画上の工事の項目数	実績値	58.30				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	来館者の満足度	目標値	85.00	85.00	85.00	85.00	%
			取組目標値					
	式・定義		実績値	97.00				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	28,172	667,442
うち一般財源 (千円)	1,072	18,342

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

修繕計画に則り、耐震化工事、併せて行う修繕工事等を貸館業務への影響を考慮しながら、指定管理者や関係機関と協力して施工する。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

昭和43年の竣工から築後40余年を経過し施設設備の老朽化が進んでいるが、会館の利用者が安全で快適に利用するためにも計画的に改修を進めるため、平成23年度に今後10年間の施設設備修繕計画を策定した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
改修が必要であっても対応できていない箇所が多く見られ、設備においては部品交換が必要であっても既に調達困難となっている状況である。
- ②困っている状況が発生している「原因」
昭和43年の建設から47年が経過しており、施設の老朽化が著しいため。
- ③原因を解消するための「課題」
鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数は一般的に65年とされているため、平成26年度に実施した耐震化工事設計により耐震工事を行うとともに、必要な改修工事を行うことで、既存の建物の長寿命化を図っていく必要がある。また、常に施設設備の状況を把握し、指定管理者と協議を重ねて修繕計画を見直し、効果的に修繕する必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

平成28年10月まで耐震工事を予定しており、併せてホールエレベータの設置、女子トイレの増設、客席改修、各種設備の更新等を予定しているため、指定管理者や関係機関と協力して円滑に施工する。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。